

介護・医療連携推進会議記録

開催日時	令和5年 9月 21日(木) 18時30分 ~ 19時30分	場所	株式会社グッドライフケア大阪 本社2階研修室
参加者	地域包括支援センター 職員4名、病院 職員2名、クリニック 職員1名 介護施設 職員3名、ケアプランセンター 職員1名、訪問看護ステーション 1名		
<p>○利用者推移の数値的データの紹介と考察</p> <p>○事例紹介</p> <p>○意見交換・質疑応答</p>			
<p>活動内容等の評価</p> <p>感染症対策のため『Zoom』を用いて本会場と併せて会議を実施</p> <p>Zoom参加者 外部12名 職員 21名(最大接続時)</p> <p>本会場参加者 外部 0名 職員5名 参加者合計名</p> <p>・定期巡回 介護度別グラフ(令和5年1月~6月)、4区別利用者推移グラフ(令和5年1月~6月)</p> <p>・事例タイトル『要介護5の生活保護男性を定期巡回が支える一人暮らし』</p> <p>・意見交換・質疑応答</p>			
<p>内容</p> <p>○利用者推移の数値的データの紹介と考察</p> <p>⇒福島区での利用が多く、短時間複数回訪問を必要としているケースが多く、ニーズが高い</p> <p>○事例紹介 事例タイトル『要介護5の生活保護男性を定期巡回が支える一人暮らし』</p> <p>⇒サービスまでの経緯...2011/1月に「脳原発性悪性リンパ腫」を患い手術を受ける。術後、ADL低下・左半側空間無視に加え、薬剤性パーキンソニズムにより生活保護を受給する事となる。退院後はKPと訪問看護で生活を支援する。2018/11に『左腎癌』が見つかり手術・治療の為入院。ADL低下、認知症状も発現してきたため、退院後に1日複数回のサービスが必要になるであろうとの予測から定期巡回サービス開始。</p> <p>⇒サービス介入当初(2018年12月~)...まずは本人様・KPともに介護士の介入に慣れていただく必要があり、1日1回のモーニングケアからスタート。2019/2にはKPがGLCを信頼して下さったこともあって、早朝・朝・昼・夕の1日4回の訪問に変更。それまでKPが一手に担っていた、生活費の管理、買物、洗濯も介護士が対応。2019/6から訪問看護もGLCに変更となり、その際に本人様の状態も落ち着いていた為、訪問看護は週1回となる。</p> <p>⇒体調不良...2019/2~2021/3の2年間ほどは体調不良もなく、順調に在宅生活を続けてこられたが嘔吐されたり体温も38度まであがるなど、突然、体調不良が出現。入院の話も出たが、本人様は「家に居たい。」と返答されたのをうけ、このまま自宅で療養しながら在宅生活することとなる。容態観察の為、夜間帯の0時に訪問を追加。看護は週1回だった訪問を週2回に増回して対応することとなる。原因は不明だが、半年後には無事回復され以前の生活パターンへと戻った。</p> <p>⇒介入時の苦労した点...①ギリギリの生活費の中、食事は100円均一で購入し提供していた。少しでも美味しい物を提供できないか介護士で話し合い、カレーやチャーハンの中にご本人様が好きなものを一品加えるなど工夫し提供していた。②当初は自力でポータブルトイレを利用していたが、ほぼ毎日のように失禁されていた。KP持ち帰り洗濯と介護士コインランドリー利用の二つの方法でさばっていたが効率が悪い為、毎月の生活費を切り詰めて少しずつ繰越金を増やしていきながら、毎月コインランドリーで5千円程度かかっている事や、生活費の毎月の繰り越し金で洗濯機の購入費が貯まった事をKPにお伝えし、購入の了承をいただいて2021/8に洗濯機を購入した。</p> <p>⇒今後に向けての課題点...見当識障害や幻視幻聴といった認知症状の進行具合に応じた対応。廃用性による下肢拘縮の予防、また、現在は保護費の管理はKPが担って下さっているが、KPが高齢であるため、KPが支援できなくなった際のお金の管理問題といったことが挙げられる。</p> <p>○意見交換・質疑応答</p> <p>・連携のためにどういったツールを使用しているのか</p> <p>→情報共有は主にChatWorkやメールを使用している。また、他事業所とやりとりする場合も、ご利用者様のグループチャットを設立し、メールにてChatに招待し、情報共有を行っている。必要であれば、昼夜問わずサービス追加が可能。</p> <p>・30分で刻まれているケアはその時間内に終わることができるのか。</p> <p>→イレギュラーなことが起きれば、時間を延長する場合もある。サービスが詰まっている場合は、応急的な処置をし再訪問する形で対応している。</p>			
事業所名	グッドライフケア24大阪	記録作成者	令和5年 9月 21日 松下 安理